

柏西ロータリークラブ

創立：1975年11月 7日
承認：1975年11月24日



1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなのためになるかどうか？



第2119回通常例会 (2020.1.24)

2019-20年度 会長：岡島 昭信 幹事：安田 勝紀

■柏西ロータリークラブ URL: <http://kashiwa-nishi-rc.com/>

■第2790地区ロータリークラブ URL: <http://www.rid2790.p/2018/>

2119回通常例会

- 1. 点 鐘 岡島昭信 会長
- 1. 会長報告 岡島昭信 会長
- 1. 幹事報告 安田勝紀 幹事
- 1. 卓 話 君島昭一 様
- 1. 点 鐘 岡島昭信 会長

会長報告

会長 岡島 昭信

みなさん、こんにちは。今日の例会は、外部卓話者の話と二人の委員長さんの下期活動計画の発表、そし

て急遽、「ロータリーの友」の記事の紹介をしたいということがあったので、最初から時間が足りないということになったので、極く手短にお願いしたいということでしたので、食事中ではございますが、会長報告をさせていただきます。もう少し時間があれば、会員増強の話をしたくありましたが、8月の会員増強月間に会員増強の話を少しさせていただきましたが、会員増強月間は何も8月だけではなく、毎月が会員増強月間であるという意識を持って頂いて、新会



員を一人でも二人でも推薦して頂ければ大変ありがたいと思っております。

それでは時間が押しておりますので、今日は以上で会長報告とさせていただきます。ありがとうございました。

幹事報告

安田 勝紀

- ① 2月18日(火) 第11G「合同例及びIM」について
テーマ：地域社会とのつながりを求めて～実践行動へ
(発表者) 中嶋利生 次年度会長
- ② R財団の寄付に対して、表彰(8回目以上は認証品無し)
榎本洋史会員：マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

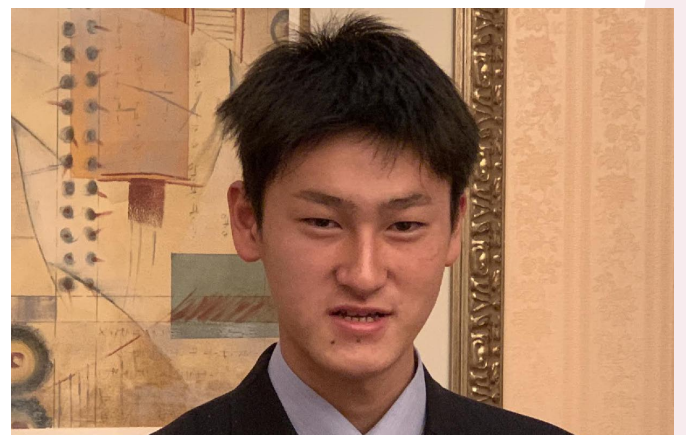
て育ててきた「日本の職業奉仕」もできれば読んでおいて下さい。

これからの例会予定

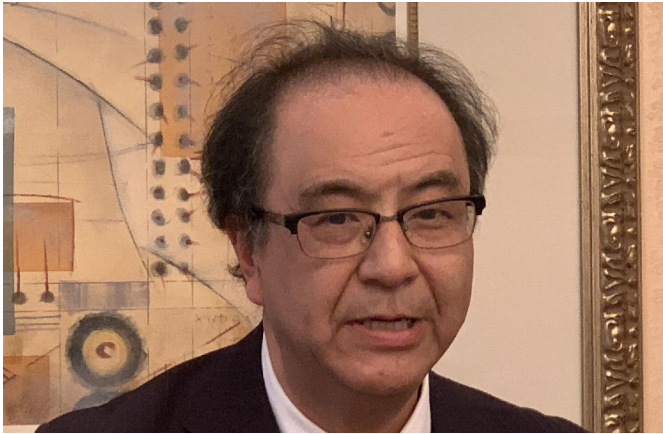
月日	曜日	例会	卓話者・他内容
2月7日	金	通常	鈴木健吾会員
2月8日	土		地区大会1日目
2月9日	日	合同	地区大会2日目
2月14日	金	休会	(振替=2/9)
2月18日	火	合同	第11G・IM
2月21日	金	休会	(振替=2/18)
2月28日	金	通常	RYLA セミナー参加者

委員会報告

- ① クラブ管理運営委員会 中嶋利生 委員長
下記も柏西RCの足跡を学ぶよう卓話を行って行きます。また、活動計画に則り、プログラムを進行していきます。
- ② 会員増強委員会 中村佳弘 委員長
年末のクラブ協議会でも言いましたが、全会員にアンケートを取る予定です。西クラブに入れたい方、我々と一緒に奉仕活動をしたい方、この人とならと思う方がいれば名前をあげて頂きたいと思っております。
- ③ 中村 博巨 会員
「ロータリーの友」誌2020年1月号の記事「He Profits Most Who Serves Bestの真実」(p.8)はぜひ読んでおいて下さい。また、その次の記事「100年かけ



ゲスト 青少年交換留学生 川崎 望雅(のあ)様



改めましてこんにちは。ご紹介いただきました、柏市役所土木部の君島と申します。この度はこのような例会にお招きいただきまして、誠にありがとうございます。また日頃から柏市の行政に対しまして、ご理解ご協力をいただきましてこの場をお借りしまして改めて御礼申し上げます。

私は今お話いただきましたけれども、柏市の土木部を所管しておりまして、土木部では道路、それから下水の整備、それからその後の維持管理を担当しております。本日はご紹介いただきましたように、柏市において昨年の9月から10月に起きました、千葉県を中心に襲ってございました台風15号、台風19号、その後10月25日にも大雨がございました。その辺の被害状況、柏市も房総半島南部を中心にすごい被害に遭われたということで報道されておりますが、柏市も同様でございまして、房総半島ほどひどくはございませんでしたけれども、それなりの被害はございました。そのような経過の話と、それから今回利根川が増水しまして、その関係の被害も生じておりますので、利根川につきましてもちょっとご紹介させて頂ければと思っております。お時間を30分ほどいただいておりますけれども、ちょっと時間の都合上全部お話する事はできないかもしれませんが、よろしくお話ししたいと思います。今日はまず最初に柏市で発生した台風情報についてのお話と、その次利根川についての状況と、利根川の治水対策、洪水対策の話、最後に柏市の対策に対しての考え方と言いますが、やtingることをご紹介させていただきたいと思っております。

こちらは柏市の、台風の際の気象状況でございます。一番左が台風15号、この時は最大瞬間風速が32.7メートル、平均で9.8メートルの風が吹いております。雨量は9月9日の午前0時から、9日の8時30分まで積算にいたしまして101mm、最大の1時間の雨量が32.5ミリでありました。主にこの15号の特徴と致しましては、皆さんご存知のように、房総半島、特に館山方面で被害が多かったことでもありますように、風が特に今回は災いを起こした台風となっております。真ん中が台

風19号、こちらは最大瞬間風速33.8メートル、平均風速が6.9メートル、雨量ですけれども、10月11日の午前0時から13日の午前0時まで、積算にいたしまして171.5ミリ、1時間の最大雨量が25ミリとなっております。この時の雨量が171.5mm、全国的にもこれはかなりの数字でありまして、この19号に関しましては雨台風という風に言っても過言ないかと思っております。最後に10月25日、こちらは台風ではありませんけれども、やはり大雨が降っております。風速は19メートルと、そんなに高くはありません。雨量につきましては、10月25日から26日まで、積算関にして187mmの雨が降っております。1時間の最大雨量にして33.5ミリ降っております。こちらは全国的にはあまり大きな被害がございましたが、柏市の中では住中小の河川が一部冠水いたしました。そのようには、やはりこの3回とも、柏市にとっては大きな被害が生じております。

こちらが19号の気象状況でございます。真ん中のレーダー雨量図を見て頂きますと主に静岡から関東東北南部にかけて、赤色が付いております。右側の台風の経路なんですけれども、後ほどお話しいたしますけれども、昭和22年カスリーン台風というのが襲っております。その時の経路と似てる経路をたどっております。カスリーン台風の際は台風の勢力よりも、そこに同時に発生していた前線の影響で大量の雨を降らせた。短時間大量の雨が降ったことによる被害が大変出たと聞いております。まず台風15号による柏市の被害状況ですけれども、人的被害は2件、軽傷で済んでおります。それから建物被害、主に家屋の倒壊、屋根が飛んだりとか、そういう被害が330件、その下の停電、約9400件発生しております。避難者は15名と少なかつたんですけれども、この時の特徴と言っていたしましては、房総半島で生じた停電事故災害、それと同じような現象が柏市においても発生しておりました。

柏市も人的資源を房総半島とか今回の台風に伴った支援を行っておりまして、給水車の派遣とか、それから家屋の応急補修作業業務に対しまして、消防署の消防局員とか水道部の職員から派遣されております。その他物資搬送とか災害廃棄物集積所、それから罹災証明発行に関わる家屋調査業に対しまして当市からも派遣をしております。台風19号につきましても、建物被害、その他の被害、合わせまして停電、5200件余りを合わせますと、5500件ほど被害が生じております。こちらの避難者なんですけれども、19号の際は334名の避難者の方が避難されております。これは1ヶ月前の台風15号の際に会いました被害を教訓といたしまして、この台風の際は避難される方が大変多かったという風に聞いております。

それからもう一つ、こちらが台風 19 号、先程申しましたけど、その際に利根川が増水しまして、利根川の水が溢れる状況になった時に、柏市に利根川沿いに田中調節池というところがあります。平常時は田んぼ、中に道路を走ってますが、田んぼのところですよ。そちらは利根川が増水が発生した際に、下流に影響が出ないように、その時に一時的に増水した水を流し込む、いわゆる調整池という役目を果たしております。今回 19 号の際には、このような形が出来ております。かなり水量出まして、田中調節池全体が水没したという事になっております。これに伴いまして、中を通っている道路・水田等は全部水没いたしました。当然道路も通行止めという措置を取らせて頂きまして、10月31日までの18日間、通行止めとなっております。今までの柏市の行政の中でこのような期間、長期に渡って道路が封鎖されたというのは初めてじゃないかという風に私は記憶しております。この時は先ほど申しましたように、柏市内の中小河川も一部冠水しております。柏市独自でも被害にやはり遭っております。こちらは先ほど中小河川の冠水した場所ですけども、柏市の藤心にございます、大津川、それから上大津川というところの合流地点になりますけれども、こちらが道路冠水、増水いたしまして、一面が池のような状態になってます。こちらがそちらの場所の冠水した模様です。幸い家屋等は近くにありませんでしたので家屋の被害はございませんでしたが、一部道路がやはり封鎖されております。その次、こちらは雨量の状況、こちらはちょっとお話が飛んでしまいますけれども、利根川に関しまして、利根川の台風 19 号に遭った際の、上流付近の雨量の状況を図で示しております。周りに書いております棒グラフですけども、左側の青い棒が、今までにあった観測地点の最多水量でございます。右側の赤い棒が今回の台風 19 号での水量になっております。ご覧の通りほとんどの観測所におきまして今回の台風による雨の水量が前回までを上回った数字となっております。こちらは利根川水系の各河川の上流部での水位になります。

こちらは水位の状況ですけど、同じように青と赤の棒グラフで示しております。それからこのグラフにつきましては、河川の利根川水系の河川の中流域での水位観測所のデータとなっております。いずれもほとんどの場合は、やはり今回の 19 号の水位量が多かったということを表してるかと思えます。ちなみにこちらに赤い×点がございます。2箇所ほどありますが、こちらは堤防が決壊した場所でございます。上の方が茨城県の中川、それから久慈川ですね。下の図面が荒川水系の河川です。いずれの×点の箇所、今回の台風によりまして、堤防が決壊しております。

そこで一つ余談になってしまいますけれども、ご存知の方も多いかと思いますが、利根川のこれまでの歴史と言いますか、今のような形になった経緯について若干お話させていただきたいと思えます。ご存知のように、

利根川は日本三大暴れ川と呼ばれる川の一つでございまして、坂東太郎利根川、それから筑後次郎、九州ですね、筑後川。四国にございます四国三郎、吉野川でございます。この三つが日本三大暴れ川と呼ばれておりました。以前から相当な氾濫を繰り返してきたという歴史がございます。こちらの赤い縦線ですけど、これは関東地方の地形で見た場合の流域、川の水の分岐点と思われるところです。こちらが赤い線から右側が、東側になりますが、こちらにつきましてはほとんどの河川の水は太平洋、銚子を通して太平洋側に注いでおります。一方は線の左側につきましては、西側になりますが、ほとんどが東京湾に注いでいるという形状をなしております。大きな形状、地形は現在も変わっておりませんが、利根川に関しましては、こちらにありますように、江戸時代より前以前に付きましては、東京湾に注いでおりました。これが近年、江戸時代以降、東遷事業という事業がございまして、利根川の水を太平洋側に流すという事業が行われております。そのような変遷をたどっておりまして、こちらは現在の利根川になりますけれども、東京湾に注いでいた利根川を銚子の方につないでいったという事業を、これは 1594 年から 1654 年までの 60 年間、事業を行っておりまして、ようやく今の基本的な形ができていう風になっています。これは江戸時代の徳川家康が江戸に入城した際に、江戸を水害から守るという目的と、それから新たな水田開発を行う、それから当時、東北地方から物資の運搬を内陸、それから太平洋、房総半島を経由して東京湾に入ってくるというルートでしたけれども、そのルートをこの新しい河川を使うことによって、内陸で運搬できるようにして、交通体系、輸送体系の確立を図っていくという、この大きな三つの目的をもって東遷事業という事が行われてきました。その結果今の現在の利根川という形になっております。

こちらは先程お話しいたしましたカスリーン台風、昭和 22 年に被害が発生しております。こちらの左側の経路を見ていただくと、先ほどをお示した今回の台風 19 号のルートと非常に似ております。勢力も当時の観測方法が今現在の観測方法とちょっと違うので、同じような数値で比較することはできませんけれども、勢力そのものは今回の 19 号の方が大きかったのではないかとされています、ただカスリーン台風の場合は、この勢力の割には非常に短時間で大量の雨を降らせております。それは台風と共にここにありました前線の影響と言われております。その際に発生したこの、カスリーン台風で発生した災害というのは、こちらの真ん中の図が利根川の水害発生状況ですが、これ以外にもカスリーン台風によりまして東北地方、それから神奈川県地方でも、同じような水害は多く発生していると聞いております。それで真ん中の図ですけども、ちょっと見づらくて申し訳ございませんが、この色が着色してある右側の緑が江戸川になります。関宿付近がこちらになります。それから利根川はこういう風に右の方にいつてるわけですよ。

が、今回の被害は利根川を境目にして埼玉県川、それから東京都と、いう大被害が起きております。かなり相当な被害であったと聞いておまして、この原因はこちらの真ん中の図にございますが、こちらの栗林付近になりますけれども、渡良瀬遊水地というところがございます。そちらの近くの堤防が決壊したことによりまして、そこを出た水が東京都まで流れ着いたと、いう状況でございます。かなりの被害が出たと言っております。被害総額にして当時のお金で約70億円と言われております。そういうことで言いますと、幸いと言ってはなんです、その時は千葉県側はこのような災害が発生したにも関わらず、千葉県側はそれほど大きな被害はございませんでした。というのは原因は決壊した場所が埼玉県側の利根川の右岸が決壊した後、右側の堤防が決壊したということと、それから千葉県の地形が、周辺の第1台地の形状、少し高い形状を成してしているという状況、それから江戸川という川が一種の防波堤の役割を果たした、ということで幸い千葉県側には、さほど大きな被害は生じなかったと聞いております。

という事でカスリーン台風、かなり大きな災害をもたらしました。それに受けまして国では利根川水系の洪水対策というものを検討して、計画を立てております。一つは洪水に対する治水ダム、最近去年完成してございました八ッ場ダムも、こちらにございますが、最近できましたけれども、こちらを含めまして各種のダムを利根川水系に設置しております。それによって下流側に流れる水の量を調節するというのと、それから調節池、先程言いました田中調節池、稲戸井調節池、菅生調節池、それから渡良瀬遊水地を含めた、調節機能を持った調整池で下流に被害が及ばないような、水を一時保留しましょうというところと、それから五大引堤と言いまして、要は川幅を広げるために堤防を100m近く広げるという工事を行ってきております。これまでこちらに載せておりますところは完成していると聞いておりますが、今現在はそれに加えて堤防の高さを変えると、計画に合わせる事業を行ってございまして、それはまだ完成してございません。ということで川の治水に対しまして、洪水対策に関しましては大変な労力、それから時間を要しております。これまでカスリーン台風、昭和22年に発生して、その後3年置いて計画がスタートしてございますけれども、未だに完成はしてございません。ということでかなり

時間を要する事業となっております。こちらは引堤先程申しましたが、こちらを實際行ったところでございます。栗橋付近の東武日光線が渡ってる付近ですけれども、このように堤防を100mほど後ろ側に避けるという工事を行って、川道を100m広げたと、いうことを行っております。

この調節機能なんですけれども、全体で3億9500万立米の貯留が行えることとなっております、今回の台風の際も、それほどの貯留ができた、良い見方をすれば治水対策を行ってきた成果が、ある程度この中では現れているのかなと、いう風に思っています。それからこれは調節池の概要で、上空から撮った写真でございます。下が6号、越流堤がこちらにございまして、先ほど申しましたことから利根川本流を増水した水がここに入ってくると、いう形になっております。貯留量は9000万立米、東京ドームにいたしまして48杯分になります。

それから国はこのようなマップを作っておりまして、洪水が発生した場合、このような危険がある箇所がありますよという図面でございます。災害時にはこの図面を使って避難に使っていただくという風に役立っていると思います。主に我孫子市、利根町が洪水が起きてしまうと、大変危ないのかなという風に思いますけれども、そうは言っても柏市もいつ洪水が起きるとは限りません。そこで柏市においても、ホームページ上にハザードマップというものを置いておりますので、是非ともハザードマップには危険地域と、それから避難場所等が明記されております。具体的な場所が個々で見られるようになっております。そのような情報を平常時からあらかじめ皆さんご覧いただいて、知識として心の中に留めて置いて頂いて、いざという時に大いに役立てていただければと、私共は思っております。つきましては今後災害はいつ発生するか分かりませんので、その際は我々は鋭意努力して参りますけれども、何分やっぱり市民の皆様方の身を守るということを自分自身でまずは第一に考えていただければと、いう風に思っています。これで私の話を終わらせて頂きます。なかなかお話がうまくできませんでした、申し訳ございません。

出席報出席報告

会員数／欠席者 61名 / 13名

大久保、影山、ゲイビ、小林正直、小林太時、白水、東海林、鈴木一弘、住吉、中村靖、花島、水留、湯浅会員

出席率 78.69%

ゲスト

君島昭一（柏市役所土木部長） 様

川崎望雅（青少年交換留学生） 様

ニコニコBOXありがとう！

★ 本人誕生日：中村佳弘、山田 会員

★ (^_^)

中村佳弘会員 ちょっといい事がありました

次回の例会は 2月7日(金) 通常例会です。

クラブ会報委員／浅野肇・松本ユミ・中塚雅人・湯浅千晶

卓話・会報の原稿は kwrc.photo@gmail.com までお送り下さい。

欠席報告は、木曜日の午前中まで

※ LINE グループ「柏西ロータリークラブ」
※ 柏西ロータリークラブ事務局「04-7162-2323」
☆ 事前に欠席が分かる方は SAA にお知らせ下さい